

**平成31年度第1回
経営発達支援事業評価検討委員会議事録**

1. 開催日時：平成31年4月10日（水）午前10時00分から午前11時30分

2. 開催場所：あさひかわ商工会館 2階 研修室A

3. 出席者

「経営発達支援事業評価検討委員」 4名

- ・旭川市経済総務課：野澤 和広
- ・日本政策金融公庫：坂口 肇
- ・旭川産業創造プラザ：中川 敏史
- ・北海道商工会連合会：渡部 正樹

「オブザーバー」 1名

- ・北海道商工会連合会道北支所：柳田 拓也

「事務局」 5名

- ・島田成人、遠藤寿一、渡辺 悟、吉田雅人、瀬良明則

4. 議事経過

定刻となり、事務局が開会を宣し、事務局の進行により審議を進めた。

(1) 平成30年度経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業の実績について

事務局から【資料1】及び【資料1-2】に基づき、平成30年度に実施した経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業の実績について説明した。

(2) 令和元年度経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業の計画について

事務局から【資料2】に基づき、平成30年度の経営発達支援計画について説明した。
なお、伴走型小規模事業者支援推進補助金は現時点で公募が始まっていないため、公募要領が公表された段階で、経営発達支援計画及び今評価に基づき申請する旨説明した。

(3) 事業の評価・見直しの検討

(1)(2)による事務局からの説明の後、項目ごとに出席委員からの意見・評価を求めた。

【地域の経済動向に関すること】

渡部委員：ヒアリングシート収集目標が900であるので、その数値を達成しなければCなのか、という事ですが、この経済動向調査と需要動向調査は経営計画策定に結びつけることが目的であるので、ヒアリングシートを収集し分析後目標どおり公表してい

るのであれば、その役目を果たしていると考えます。

中川委員：数値目標の達成ばかりでなく、事業の内容も重要と思います。

坂口委員：C じゃなくていいもいいのではないのでしょうか。昨年度もこの項目は A 評価でしたので、同様に A でいいのではないのでしょうか。

この項目については、A とすることで、評価委員の意見が一致した。

【経営状況の分析に関すること】

渡部委員：経営分析することが目的ではないので、この項目に関しては経営課題が見つかったということで十分なのは。そう考えますと A 評価でいいと思います。

この項目については、A とすることで、評価委員の意見が一致した。

【事業計画策定支援】

中川委員：事業承継の件に関しては、振興局や信金ネットワークでも個別相談やセミナーを実施しています。昨年当プラザでも実施しましたが、セミナーの受講者はいるのですが、まだまだ情報を集めている段階。表に出したい案件ではないので、潜在的には多くの事業者がいるとは考えますが、すぐ事業承継に動くかということそうではない場合も多いので、事業承継の課題については、少し長いスパンで考えた方がいいと思います。

渡部委員：地域の経済動向に関すること・経営状況の分析に関すること・需要動向の調査に関することのこれらの項目は、ここにつなげることを目的としています。

この項目が自己評価 A なのであれば、他の項目も A で良いと思いますし、この項目自体 A 評価で構わないと思います。

この項目については、A とすることで、評価委員の意見が一致した。

【事業計画策定後の実施支援に関すること】

特に意見はなく、この項目については、A とすることで、評価委員の意見が一致した。

【需要動向の調査に関すること】

中川委員：需要動向調査・提供は大事な要素であると思います。個別で支援していることを考えると潜在的な数もあるのではないかと考えます。

坂口委員：全体的な流れから C 評価はないと考えます。

野澤委員：A 評価とは言い難いが、C 評価とは言えないので、B 評価が妥当なのではないでしょうか。

この項目については、B とすることで、評価委員の意見が一致した。

【新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること】

中川委員：展示会に出展し商談に結び付くのが最も良いのですが、自らの商品が他からどう評価されるのか、情報収集し次の展開に結びつけることも重要な要素と思います。自分の店舗以外で販売やPRを行なうこときっかけを提供することは必要と感じます。

映像による情報発信はツールが増えた感があるので今後も継続すべきと思います。
事務局：支援の幅が広がっているのは実感している。ライナー（フリーペーパー）の紙媒体から映像による情報発信へ結びつけている。従来型の支援からこの事業により支援ツールが増えている。

中川委員：若い人にはテレビよりユーチューブの動画を見る人も多くなっている。新聞は読まない。ネットに出ている広告ばかり見て、地元の情報が入ってこない。20年後・30年後からが主体となった時を考えると、ネットを通じた映像による情報発信は良いように感じている。

野澤委員：映像による情報発信による支援ツールも増えていますが、ライナーを活用した広告も業種によってばらつきはあるかもしれませんが、飲食店にとっては効果があるのではないかと感じます。

私自身ライナー広告事業で知った喫茶解放区に行ってみたので、情報発信の効果は出ていると感じています。

坂口委員：映像を発信している商工会は他にもあるのですか。

事務局：奈井江町商工会が行っています。昨年、奈井江町商工会の役職員が来会し、意見交換を行いました。奈井江さんは映像から紙媒体へつなぐ事業を検討しているところだそうです。機会があれば、今後も他の商工会と情報交換をしながら、より良い事業を構築していきたいと考えています。

渡部委員：ツールができて良かったと思いますし、前段までの項目は、元々あさひかわ商工会はこの点を重視した事業をしておりました。需要開拓という面では弱い所もあったわけですが、この事業を通じて初めて取り組んだことも多かったのではないかと思います。

中川委員：これから、情報化対策の一つとして、SSL対策への支援も必要となってくると思います。URLにhttps://から始まらないと、グーグルでの検索に引っかからないと言われていて、その辺の対策支援も進めていただきたいと思います。

この項目については、Aとすることで、評価委員の意見が一致した。

【地域経済の活性化に資する取組】

渡部委員：大きな街になると事業展開が難しいかもしれません。小さな町で少ない地域資源をどう活用するか。そういう時に町全体で協議する場がないとうまくいかないのでは、なかったら協議する場をつくっていくという事なのですが、事務局からもありましたが、旭川はいろいろ地域資源もあるので、商工会で仕掛けて大きなうね

りにするのは難しいというのが実感なのだと思います。今後どう展開していくか、模索中のところだと思います。

中川委員：あさひかわ商工会の規模だと絞り込むのも難しいことなのだと思います。

渡部委員：商売を伸ばしていくためには企業だけではダメで、周りの環境を整えるという考え方ですが、事業展開するのは難しいと思います。

野澤委員：どうしても旭川市だと総花的になってしまう。これだという絞りこみが難しい面があります。観光の面でいうとインバウンドの取り込みが重要だと言われています。旭山動物園の入場者数の推移を整理すると、外国人の団体客は3%減少しています。その反面個人の観光客は増加している。団体の観光客ですとどうしても大きな店舗に行ってしまう、小さい店では収容数の関係から取り込みが薄いわけですが、個人で観光する外国人が増加傾向にあることは、外国人に向けた情報も発信することで、地域のお店も外国人の需要を取り込める可能性もあると思います。

こういう部分も含めて、期待を込めてB評価としたいと思います。

中川委員：外国人の個人観光客を取り組むためには、キャッシュレス決済の啓発も進めていくのも一案と考えます。

野澤委員：「ゆめぴりか」のブランド化を目指した取り組みがありますが、旭川だ、周辺町村だという競争から脱却して、道内が協力して道外のお米と競うことで、ブランド戦略としてうまくいっています。

その時、ご当地グルメの戦略に詳しいヒロ中田さんを招いて、地域ブランドのアイディアをもらおうと考えたのですが、小さい街だとやりやすいが、旭川規模だとブランド化は難しいのではないかとの意見をもらったこともあります。

中川委員：地域ブランドとしての商品化は、仲間内で取り組む範囲内でないと展開しづらい面があるのではないのでしょうか。

この項目については、Bとすることで、評価委員の意見が一致した。

【他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること】

中川委員：女性の感性を支援の場に活かすことは重要と感じます。カンファレンスは、あさひかわ商工会の特徴・強みを活かしていると思います。

この項目については、Aとすることで、評価委員の意見が一致した。

(4) 経営発達支援計画第2回申請に係る方向性について

事務局から【資料3】【資料4】に基づき、第2期目の申請に向けたフローについて説明した。

野澤委員：変更内容の詳細についてはまでは、まだわからないが、スキームの変更は承知しています。

渡部委員：詳細については把握しておりませんが、計画内容について市とすり合わせをしていくようなイメージなのではないかと思っています。稟議に回して市長の印をもらうような形ではないかと思っています。

野澤委員：いずれにしましても、詳細がわかり次第、市としても打合せさせていただきます。

事務局：委員の皆さまにはお手数をお掛けすると思いますが、2期目の申請に向け、協力をお願いします。

(5) その他

「働き方改革」や「消費税率アップ」「軽減税率」などの対応について意見交換した。

事務局は他に提案や質問を求めたが、質疑はなく、長時間にわたる審議について謝辞を述べ、午前11時30分閉会を告げた。